



議会だより



運動会での全校鼓笛で演奏に乗って踊る一年生（中春別小学校）

主な内容

補正予算を ^{ただ} 貰す	2
請願が採択されました	3
町政のここが聞きたい	
一般質問（中村・佐藤・瀧川・丹羽の4議員）	6~10
常任委員会活動報告（総務建設常任委員会）	11
シリーズ ●輝け！学校「中春別小学校」	14

9月 定例議会

9月15日～17日開催

9月定例議会は、9月15日から3日間の会期で開かれました。審議のようすをお伝えします。

補正予算を質(ただ)す

一般会計・介護保険特別会計の二会計について補正予算が提案されました。

二議員から質問があり、町当局から答弁が行なわれました。

質問 (松原議員)

観光船新規ルート申請事業費三百万円について詳しい説明を。

答弁 (今井商工観光課長)

観光開発公社の新たな観光メニューとして野付半島沖をクルージングできるように補助します。

内容は、運行区域の変更に伴う検査費用として二百四十九万円、資料等作成百五十万円、小形船舶救命浮器・無線設備費用七十七万円など、旅客不定期航路

事業許可申請などに五十一万円です。

質問 (佐藤議員)

農業振興施設等整備補助金九百五十万円の中身は。

答弁 (土井農政課長)

JA道東あさひ・別海支所管轄での農業機械導入に関して補助金を受けるということです。スプレヤー・アツパローダーなどの農業機械の導入で、補助率は二分の一です。

平成21年度補正予算

補正額

予算総額

◇一般会計(3回目の補正)

1億2,350万円増 149億3,160万円

一般会計の主な補正(歳出)

- 除雪経費 8,718万円増額
- 子育て応援特別手当給付 1,970万円増額
- 農業振興施設等整備補助金(草地簡易更新の機械導入) 950万円増額
- 強い農業づくり補助金(農業用機械購入等) 1,983万円減額
- 観光船新規ルート申請事業費 300万円増額

◇介護保険特別会計(1回目の補正)

1,850万円増 9億8,230万円

介護保険特別会計の主な補正(歳出)

平成20年度事業実績による国・道などへの精算

※2会計とも全員の賛成で可決されました。



ルート拡大で野付半島沖のクルージングも可能に

工事契約金変更に関する質疑

町民憩の森公園整備工事の契約金額を819万円増額し、7,087万5,000円に変更する案が上程されました。これに対し質疑がありましたが、採決の結果は全員の賛成で可決されました。

質問 (中村議員)

一割を超える増額ということですが、内容を説明してください。

答弁 (天田事業課長)

休憩所を移設する予定でしたが、腐食がはげしく移設できないため、新設する計画に変更したいということです。

質問 (中村議員)

施設の耐用年数が五、六年、設置から十五年以上が経過しています。詳細な調査の上で見積もりする必要があるかと思えます。初歩的な判断ミスです。

答弁 (藤原水産みどり課長)

専門家に診断してもらった結果、移設できないという確信の下に進めました。掘り返してみてもわかりました。

条例を一部
改めました

◆国民健康保険条例

健康保険法施行令等が改正されたのに伴い、出産育児一時金が「三十五万円」から「三十九万円」に改められました。

※注 平成二十一年十月一日から平成二十三年三月三十一日までの間に出生した国保被保険者に限る。

◆総合スポーツセンター
条例

町営テニスコートの完成に伴い、名称・設置場所を変更し、使用料を定めました。



さまざまな議論を経て新テニスコート（別海）がようやく完成

町民の請願が（一部）採択されました

◆北海道の広域性・自然条件を考慮したへき地級地・運用を求める請願

提出者 根室教職員組合別海支部
報告者 文教厚生常任委員会
委員長 安部 政博 議員

文教厚生常任委員会に付託された請願の審査結果について安部委員長から報告があり、一部採択されました。

（採択された請願事項）

◎県庁所在地又は準ずる都市までの距離による加点は、準ずる都市を釧路市から旭川市にすること。

◎道教育委員会はへき地級地の見直し・運用の要望を受け止め、最終級地確定までの検討状況を各教育局・地方教育委員会・学校に可能な限り周知すること。

なお、「二万人以上都市近郊減点は最東端の根室市のへき地性を訴え、行わないこと」など三件については、当町としては解決されている、または該当しないということで、不採択となりました。

財産の取得を
承認しました

◆高規格救急車

指名競争入札で釧路トヨタ自動車(株)中標津店が落札しました。

指名競争入札で釧路トヨタ自動車(株)中標津店が落札しました。契約金額は、三千六百十五万一千円です。

道路整備に関する
意見書をめぐり討論

総務建設常任委員会委員長・池田幸雄議員から「道路の整備に関する意見書」が提出され、討論が行なわれました。

意見書は、高規格幹線道路ネットワークの形成と道路整備促進のための必要な予算確保などを求めるものでした。

反対討論

（瀧川榮子議員）

道路整備は重要ですが、住民にとって不急の道路をつくるなら重大な問題です。遅れた生活道路整備

や行き届いた除雪など生活に密着したものをまず促進することが大事です。そして情報公開と住民の合意で優先順位を決める必要があります。

賛成討論

（横堀昭康議員）

北海道だからこそ、緊急医療や産業の関係から道路整備は必要です。高速道路も途切れ途切れで一本化されておらず役目を果たしていません。早期に整備してほしいと思います。

疲弊している地域に活力を与えるという意味でも整備は必要です。

採決の結果、賛成多数で意見書の提出が決まりました。

臨時議会

7月31日開催

7月31日に行われた臨時議会で審議・決定された事項は次のとおりです。



野付小学校の外壁の修理が進んでいます

工事請負契約の締結を承認しました

◆**浜春別尾岱沼線戸春別橋架換工事（下部工）**

簡易公募型指名競争入札により、寺井建設（株）が落札しました。契約金額は九千四百五十

◆**野付小学校外部改修工事**

指名競争入札により近藤建設（株）が落札しました。契約金額は五千六百七十七万五千円で、工期は平成二十一年十二月十日までです。

万円で、工期は平成二十二年二月十日までです。

◆**本別海地区避難施設建設建築主体工事**

簡易公募型指名競争入札により、島影・三共經常建設共同企業体

が落札しました。契約金額は一億二千八十万円で、工期は平成二十二年一月二十九日までです。



来年1月末に完成予定の本別海避難施設

工事請負契約の一部変更を承認しました

平成二十一年四月臨時会で議決された町道別海床丹港線舗装補修工事の契約金額を百六十一万七千円増額し、五千七百五十八万二千円に変更されました。

平成二十年度 各会計決算審査特別委員会を設置

平成二十年度の一般会計・特別会計（国民健康保険会計など六件）・企業会計（病院会計など二件）の計九件の決算内容を審査するため、平成二十年度各会計決算審査特別委員

会を設置しました。十月から慎重に審査した上、十二月の定例議会で審査内容が報告され、認定について採決されます。

- | | | | | | | | |
|----|----|----|----|----|----|------|-----|
| 委員 | 委員 | 委員 | 委員 | 委員 | 委員 | 副委員長 | 委員長 |
| 昭康 | 忠士 | 憲悦 | 博義 | 昌廣 | 西原 | 丹羽 | 松原 |
| 横堀 | 中村 | 戸田 | 戸田 | 沓澤 | 西原 | 丹羽 | 松原 |
| 昭康 | 忠士 | 憲悦 | 博義 | 昌廣 | 西原 | 丹羽 | 松原 |
| 昭康 | 忠士 | 憲悦 | 博義 | 昌廣 | 西原 | 丹羽 | 政勝 |

町長の 行政報告

平成21年9月定例議会での町長の行政報告を要約して掲載します。

産業の動向

酪農畜産

尾を引く天候不順

町内での生乳生産量は二十八万二千四百リットル（一〇二・八％）、販売額は二百四十一億八千六百万円（一一三％）となつています。

一番草、二番草とも遅れ気味でやや不良。デントコーンは七日遅れの不良です。六月中旬以降の著し



不漁が予想されていた秋サケ漁だが、前年実績を上回る勢い

水産業

秋サケ減産の予想

秋サケ漁は全道的に前年実績を大きく下回り、当町では三七％減との厳しい予想の中、九月五日ころから本格

観光

郊楽苑が再開

観光客の八月までの

的に水揚げされています。現在のところ昨年同期比で二一％増ですが、まだ序盤で不透明感が強く、今後の漁模様に期待しています。

入込み数は十三万五千二百人で、二八・五％の減となっております。

原因としては、天候不順、新型インフルエンザの流行などが考えられます。

旧郊楽苑は九月十一日に再開しました。レストラン・宿泊施設は十月以降に再開の予定です。

病院

小児科医の確保に全力

小児科医は、平成十八年度から「地域医療センター事業」により、最大四年間の期限付きで札幌医大から派遣していただいています。

しかし六月、七月の二度にわたり札幌医大から二十二年度からの小児科医の派遣は困難との通知がありました。今後、札幌大との良

好な関係を保ちながら、自力での医師確保に全力を挙げなければなりません。

小児科医確保が明確になっていない現状では、平成二十二年四月以降の別海病院における出産にも影響が出てきます。

特に初産婦の出産は経産婦と比べて出産時、出産直後の新生児の危険度が高くなることか

ら、新生児治療ができない小児科医の存在が不可欠です。

小児科医が確保できない場合、そうしたリスクの高い出産を進めるわけにはいかず、小児科医の常勤している病院での安全・安心な出産をお願いせざるを得ません。

九月から来年四月以降の出産による入院予約も始まることから、事前に町民にお知らせする必要があります。ご報告します。



天候不順などで苦戦を強いられる観光(野付半島の観光客)

町政の ここが聞きたい

9月定例議会では第2日目(9月16日)に4議員が一般質問をしました。その内容を要約して掲載します。

■中村忠士 議員

- 1 国営事業人件費は地元が負担する必要はない…6
- 2 「命のバトン(救急医療情報キット)」の導入を…7

■佐藤初雄 議員

- 1 エゾシカの食肉加工場の建設は……………7
- 2 冬季暖房費の補助をしないのですか……………8
- 3 かんがい排水事業の有効活用を……………8

■瀧川榮子 議員

- 1 原水爆禁止世界大会への代表派遣を望みます…9
- 2 イースタウンの自治会組織づくりに町の協力を…9

■丹羽勝夫 議員

- 1 酪農工場の決算は粉飾決算では……………10

中村議員

**国営事業人件費(二千万円)は
地元が負担する必要はない**

町長 問題があるので、知事会

などと連携して対応します

中村忠士議員

国営かんがい排水事業は町内四か所を実施または調査が行われ、事業総額は一千百億円と言われています。巨額な血税を投入するものであり、事業の実効性についての十分な検証と透明性の確保情報開示が必要です。負担対象事業費の中に職員基本給・諸手当・共済組合負担金・退職手当が入っています。これは本来国家予算の人件費に組まれるべきで、事業費に入れるべきではありません。この人件費について、単年度で約二千万円を町と利用農家が負担することになります。

地元はそこまで負担する必要はありません。人件費を負担事業費に入れるのは不適切だと国にはつきり主張し地元負担を軽減するために努力すべきです。

水沼町長

人件費が負担事業費に入っていることについては、いろいろと問題があると考えています。全国知事会、道、他市町村と連携しながら対応していきたいと思っています。

質問

町の維持管理費について、担当の説明では、別海・南部・西部の三区総計で年間約四千

万円かかるということ。これに北部が加わると年間で五、六千万円か、それ以上の維持費になる可能性があります。軽減策は?

飯島産業振興部長

この数字はあくまでも試算です。直轄事業で施設投資したことにより非常に維持費がかさんできていますので、町も加入している道の土地改良事業団体連合会が国に対して要請活動を行っているところです。

質問

農家の運転管理費は、平成二十年の別海地区の抽出調査では、電気代と水道代合わせて五十九万円から九十一万円となっています。しかし、これが臭気や腐熟度の問題をクリアした上での数字かどうかわかりません。平成十九年の南部地区の抽出調査では六農

家中五戸が環境基準をクリアしていません。基準をクリアするためには、平均八十万円と言われている運転管理費も、そんな負担ではすまなくなるという

ことになりま。ただちに調査結果を公開すべきです。飯島産業振興部長 開発の方では、十九年度で別海地区の事業

は終わっているの、その後の調査ははつきりわからないと言っています。資料がないかも少し調べさせていただきます。

中村議員 「命のボタン」(緊急医療情報キット)の導入を

町長 関係者と検討していきます

中村忠士議員

緊急搬送の際、患者の年齢・血液型・持病・服用している薬・かかりつけの病院や医師などの情報が救急隊員や医師に早く正確に伝わるのが重要です。一人暮らしだったり、家族が留守のときに倒れ、口がきけないという場合のことを考え、「命のボタン」(救急医療情報キット)が考案され全国に広

まっています。当町でも導入を考えてみたらどうでしょうか。

水沼町長 当町では緊急通報システム事業を実施してはいますが、服薬等の情報まで確認できることになっていません。今後、関係者などと検討していきます。



夕張市などで使用している「命のボタン」と説明用の紙芝居

佐藤議員 エゾシカの食肉加工場の建設は

町長 要請があれば今後検討します

佐藤初雄議員

増加するエゾシカによる樹木、牧草、デントコーンなどの食害被害が深刻になってきています。シカを有効な資源として活用するべきです。生息実態調査と被害状況、駆除頭数および経費、出役日数と人数は。

飯島産業振興部長

(答弁を別表にまとめました)

質問 自費で捕獲したエゾシカの飼育実態と今後の見通しは。

飯島産業振興部長

猟有会員一名が三十、四十頭程度養鹿しています。生体の捕獲、確保、飼料の高騰など継続が厳しい状況になっています。

質問

資源の有効活用、新ビジネスとして、また企業興しという観点から、食肉加工場建設の考えはありますか。

水沼町長

要請があれば、今後の助成制度、対策事業を含め検討します。

別表

		平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
農業被害	管内	万円	万円	万円	万円	3億1,513万円
	町内	万円	万円	3,184万円	8,111万円	8,362万円
林業被害		・若木の新芽等の被害はあるが、被害面積・被害額の報告がなく、詳細はわかりません。				
捕獲状況	銃器	1,173頭	1,319頭	682頭	914頭	952頭
	箱わな	頭	2頭	45頭	36頭	45頭
経費		107万円	215万円	212万円	278万円	273万円
人数		66名	190名	178名	155名	161名
日数		146日	107日	96日	217日	270日

※根室管内の生息数は、約28,000頭
※全道的な調査結果によります。
ライトセンサス、ヘリコプターセンサス、狩猟者による目撃情報などをもとに、エゾシカ保護整理検討会において数値化した推定値です。

質問 関係者はエゾシカの有効活用のため、多様な料理の仕方、各種行事などでの試食会などすそ野を広げる努力をしていますので、行政の支援が必要です。

水沼町長

消費を安定的に伸ばすことが大事ですので、支援できる場所があればしていきます。

冬季暖房費の補助をしないのですか

佐藤議員

佐藤初雄議員

町長 状況に応じて対応していきます

弱者や低所得者への支援対策が必要と考えます。

水沼町長

原油価格の高騰時には暖房用燃料費の一部を助成しましたが、価格水準が戻ったので、現時点では実施を考えていません。

質問

格差社会が進行拡大しています。弱者に光を当てる政策が必要です。

景気の動向の深刻な状況に合わせ、速やかな対応の必要があると思います。

水沼町長

その状況に依り、福祉政策全体でいろいろな取り組みをしていきたいと思えます。

佐藤議員

かんがい排水事業の有効活用を

産業振興部長

J Aと連携して

事業を推進します

佐藤初雄議員

環境保全型かんがい排水事業が町内四地区で実施、調査中です。総事業見込額、各負担割合と金額、受益面積、戸数などについてお聞きします。

質問

牧草の収穫量の増、購入肥料の削減の効果もありました。

肥料費削減、雑草対策、良質粗飼料確保、環境保全への配慮など、農協と連携し、事業を推進すべきでは。

飯島産業振興部長

(答弁を別表にまとめました)

質問

肥培かんがい排水施設の運用状況(希釈倍率、ばっ気)の実態把握は。

飯島産業振興部長

良質なスラリー生成、散布、継続的な水質変化の検証、またJ A、関係機関との連携、事業の推進、施設の有効利用などを進めていきます。

飯島産業振興部長

電気、水道料金、ばっ気時間や加水状況について、釧路開発建設部

別表 国営環境保全型かんがい排水事業の全体像

地区別	総事業費	負担区分	工期	受益面積	受益戸数	主要工事	進捗状況
別海	151億 6,800万円	国 80% 121億3,400万円 道 15% 22億7,500万円 町 5% 7億5,800万円	平成11年度 ┆ 平成19年度	7,800ha	119戸	・用水路 14条-71km ・肥培かんがい施設 24ブロック ・排水路 30条-44km	平成19年度完了
別海南部	240億円	国 80% 192億 万円 道 15% 36億 万円 町 5% 12億 万円	平成17年度 ┆ 平成25年度	13,344ha	193戸	・用水路 118条-118km ・肥培かんがい施設 70ブロック ・排水路 29条-35km	平成20年度まで43.1%
別海西部	220億円	国 80% 176億 万円 道 15% 33億 万円 町 5% 11億 万円	平成19年度 ┆ 平成27年度	9,952ha	174戸	・取水井戸 1カ所 ・用水路 123条-101km ・肥培かんがい施設 76ブロック ・排水路 8条-17km	平成20年度まで8.9%
別海北部	調査計画中	国 80% 億 万円 道 15% 億 万円 町 5% 億 万円	調査期間 平成18年度 ┆ 平成22年度	(概数) 30,084ha	481戸	・用水路 36条(予定) ・肥培かんがい施設 109ブロック ・排水路 13条-16km(想定)	調査計画策定中(変動あり)
<水道施設工事> <ul style="list-style-type: none"> ・総事業費約87億円のうち町負担金約10億円 ・配水管の延長 196.9km 排水池 6基 取水施設 1基(井戸) ・補助金なしの場合、2倍以上の水道料金となります。 							

※償還方法は、15年償還で、うち2年据え置き利率5%です。負担区分は、国80%、道15%、町5%です。
 ※町は負担軽減対策として、起債により繰上げ償還し、後に交付税措置が講ぜられる方法(別海地区のみ償還済)
 ※好気性発酵を選定しています。

質問

水道事業に関する総事業費、管の総延長、また補助なしの場合の水道料金は。田中建設水道部長(答弁を別表にまとめました)

瀧川議員

原水爆禁止世界大会への 代表派遣を望みます

町長 今のところ考えていません

瀧川榮子議員

世界で唯一の被爆国である日本は非核宣言自治体が八一・一％になりました。

別海町の平和の街宣言には「地球上から核兵器をなくす」と明記されています。「非核」の文字を「平和の町」の文字の前に記載し、核兵器をなくすという想いを改めて前面に出すときがきていると考えます。

水沼町長

宣言の決議の重さをしっかりと受け止めていますが、改めて「非核」の文字を入れる必要はないと考えています。

質問

町には原爆写真資料があります。庁舎ロビーで広く公開し、原爆の悲惨さを知ってもらう方策を取る必要があります。

山口教育長

「原爆と人間」のパネルを平和学習の教材として一層の活用を図っていきます。

ロビーでの実施となれば新たな資料を取り揃えて補うなど措置が必要ですが、

今後状況が整えば、機会を見て行いたいと考えています。

質問

原水爆禁止世界大会への代表派遣を望みます。

水沼町長

ふれあいの翼事業で、被爆地広島市への派遣は実施していますが、代表派遣の考えはありません。

小守総務部長

毎年、地元の原爆展実行委員会、原水爆禁

止国民平和行進実行委員会の支援の実施。本年は平和市長会議に加入しました。世界恒久平和の実現に寄与することを目的として活動しています。

核廃絶に向けた取り組みを行っていきたくと考えています。

瀧川榮子議員

イーストタウンの入居者は高齢化し、芝刈りあとに体調を崩す事態が出ています。芝刈りには責任範囲を超える面積があるのではありませんか。

田中建設水道部長

緑地整備規定に準じて整備しています。広すぎる状況にはありません。各棟、団地全体でサポート体制を組むなど要請します。

質問

共同生活の場ですが

住民同士でまとまりをもてない現状があります。役場で住民の声を聞く場が必要だと思います。

田中建設水道部長

アンケート調査で芝生管理など意見は承知しています。他市町の調査では自治体に関与せず、入居者が独自で自治会などを立ち上げ管理費を徴収・運営しています。

質問

住民は自治体の関与の場で意見を申し合い、問題解決を願っています。

水沼町長

自治組織など模索してもいいと思います。自主的に議論していただきたい。地域の苦情には地域で改善していくのが最短の

質問

トラブルが起こる可能性も聞きます。

水沼町長

問題解決には、自主的に自治会組織をつくり住民合意でいろいろな方法を取るのが一番です。組織作りには行政の関与は控えなければなりません。



公営住宅の芝生管理にはさまざまな課題がある

酪農工場の決算は粉飾決算では

丹羽議員

丹羽勝夫議員

別海町酪農工場の「経営診断報告書」が当初の調査仕様書と内容が違っていませんか。調査金額も二百一十六千円で間違いありませんか。

町長 不正な経理はしていません

飯島産業振興部長

HACCP（ハザップ）については乳業興社ですでに進めていきますし、中山間事業は全町集落の中で消費拡大事業として進めているので調査対象からはずしました。

調査が始まってから何一つ変更はありません。金額についても変更ありません。

質問

その他に四十九万円支払って調査をしています。

飯島産業振興部長

随意契約で、最初の調査内容と別途四十九万円の契約を結んで調査をしています。最初の調査結果を踏まえて、追加調査を依頼しました。

質問

中山間事業から牛乳の無料サンプル、販売促進費の旅費交通費が



バター製造に汗を流す酪農工場の職員

支出され、間接的に酪農工場の黒字に寄与しています。

正確な経費の決算がなされていないため、原価計算、費用対効果の検証ができません。もし意図的に調査対象外にしていたり、黒字の上乗せをしているのなら、事業報告書の一部が粉飾決算といわれても仕方ありません。

水沼町長

中山間事業は特別な対策で、法整備された事業ではありません。

中山間は中山間でちゃんと経理されていますので粉飾決算といわれるとどうかと思います。不正のない経理がなされていると思います。

議会のまめ知識

請願・陳情

請願とは、国や道、町に対し要望を述べることで、国民に認められた憲法上の権利の一つです。

請願の提出は誰もができます。

請願書は、議員の紹介により、請願の趣旨、提出年月日、住所及び氏名を記載し、押印して提出します。

請願書が提出されると、議会は委員会に付託し慎重に審査し、本会議で「採択」「不採択」を決定します。

採択したもので関係執行機関に送付することを適当と認めるものについては、意見書等にして関係機関に送付することになります。

陳情は請願と異なり議員の紹介は必要としません。提出のあった陳情書は議会運営委員会で協議し、必要と認められたものは請願と同様の扱いをすることができま

総務建設常任委員会

池田 幸雄 委員長

今号から三回にわたって、各常任委員会の活動について報告します。第一回目は、総務建設常任委員会の活動についての報告です。

水道施設など現地調査（九月三日）

総務建設常任委員会では、七月三十一日に委員会を開催し調査内容を協議しました。

協議の結果、①水道水の貯水施設である風蓮一号配水池と併せて農家の肥培かんがい施

設（国営環境保全型かんがい排水事業）②西春別・中西別改良舗装工事（防衛施設周辺道路整備事業）の二件について現地調査することにし、九月三日に実施しました。

防衛施設改良舗装工事については、自衛隊車両が通行する路線の整備ということで、防衛予算による高率補助により改良舗装が進められていきます。



西春別・中西別線の改良舗装工事

西春別・中西別改良舗装工事

来年度に完成する予定です。

風蓮一号配水池・肥培かんがい施設

現地で、釧路開発建設部および町建設水道部職員から事業内容の説明を受けた上、事業内容の現地調査と委員による意見交換を行いました。

かんがい排水事業では、石綿管や老朽化した水道管の交換、配水池の整備による水量の確保について、また、肥培かんがい施設については、ランニングコ

ストや生産性の向上について十分検討していく必要があると考えられます。今後、合同の委員会等により継続調査していく必要を感じました。



かんがい排水事業・肥培施設から液肥を汲み上げる機械

議会のうごき

議会運営委員会

研修報告

(8月7日 札幌市)

北海道町村議会議長会事務局長の勢旗了三氏が講師に今年度の研修が活発な論議の中、進められました。

「議会は住民と向き合っているか」

三年前、栗山町議会が議会基本条例を制定したこともあり、この議論が深まっています。栗山町の条例制定後、



全道町村議会議長会勢旗事務局長の講話を聞く議運委員

左舷に夕暮れの国後の山並み、沈む夕陽と爺爺岳は、まさに幻影の世界であり、深い郷愁の思いがありました。

〔八月二十二日〕
第四回の北方四島訪問は低気圧の先制パンチを受け、一日遅れの出港。北緯四十三度三十八分・東経百四十八度四十八分ロシア国境警備と通過点交信。国後島・古釜布で入域手続を済ませ、一路、択捉島に向けて十時間の航海に出発。

北方四島交流(ビザなし交流) 択捉島訪問航海記

(8月22日〜23日)

〔八月二十三日〕

国後水道を通過し、択捉島内岡入港し、ロシア側の艇に乗り、同港に上陸。十数台の様々な車に分乗し、行政府のある紗那に向かいました。

表敬訪問は、芸術学校の一室。訪問団長あいさつの後、副行政長のスナプコフスキー氏が歓迎のあいさつの中で、「人道支援助物資受取りを拒否した前地区行政長は転任した。どうやら北特法にアレルギー反応を示したようだが、

安心してしまい、各自治体とも創意工夫が不足していると勢旗氏は述べていました。条例は目的でなく、手段であるとの認識を持ち、各議会で今何が必要か、何ができるか

を真剣に考え、まずは実行だと力説されていました。また、各常任委員会の所管調査の活発化を促し、政策提言もすべきとの指摘を受けました。最後の決め手は「で

きない理由を探すより、できる方法を考えろ」ということばでした。またまた反省を迫られることばでありました。(安部委員)



夕暮れの国後島爺爺岳

り、日本人墓地へ向かい、建立された墓碑にお参りをして、墓地を後にしました。二日間の行程の全部を一日で消化することになったため、大急ぎの視察でしたが、ロシア側は休日を返上して対応してくれたそうです。(日程変更は難しく、本来は中止となる状況でした。)

外務省課長・北海道北方領土対策本部のご努力で、所期の目的が果たされたものと思います。

何年後かに島が友好的に返還されることを願いつつ、択捉島内岡を後にしました。

(戸田憲悦議員)



全国議会広報研修会では情報発信のノウハウを学びました

わかりやすい紙面づくりめざして 全国議会広報研修会 (8月24日～25日 東京都)

東京都のシェーンバッハ・サボーで行われた議会広報研修会に参加しました。

「わかりやすい文章表現・表記」というテーマで①箇条書きの精神（文章の区切りをはっきりさせる）②予約の精神（次に何が来るか予測できる書き方をする。重要なことを先に述べる。）③敬語表現（謙譲語と尊敬語を混ぜない）などの表現技術について研修しました。

2日目には、全国の14誌とともに議会だよりのクリニックを受けました。一般質問の要約については高評価を受けましたが、議員名だけではなく顔写真を入れると良い。見出しを工夫し、記事全文を読まなくても本文がわかるような工夫がほしい、住民参加のスペースを増やすと、より良くなるとアドバイスをいただきました。（西原委員）

北海道 ホルスタイン共進会

(9月12日～13日 音更町)

毎年安平町で開催していた「北海道ホルスタインナショナルショウ」は、来年の全日本ホルスタイン共進会・北海道大会に向けて改修工事のため、今年

は十勝農協連家畜共進会場で開催されました。

道内各地を勝ち抜いた約四百頭がその優美さを競い合い、その結果、清水町の成松直樹

氏のパイン リッジギブソン プリンセス号がグランドチャンピオンに輝きました。

当町出品牛の成績

は、第十四部成牛クラスに出品した安部克寿氏（JA道東あさひ）のマウントエース ロイレイン カイト号が一等二席、第四部未經産ミドルクラスの林満

治氏（JA計根別）のフォレット クック ジエット ストリーム号が一等三席と大健闘

しました。
来年の全共出品を期待したいものです。
(山田委員)

根室支庁管内 議員研修会

(9月26日 別海町)

管内町村議会議長会主催の議員研修会が当町・マルチメディア館で行われました。

ようにかかわっていくべきかなどの課題について示唆に富んだ話が聞けました。

「地方自治をめぐる最近の話題」と題し、北海道総合政策部地域づくり支援局長・神姿子氏の講演、事例紹介として「国営環境保全型かんがい排水事業」について、当町産業振興部環境特別推進室主任・登藤和哉氏から説明を受けました。

事例紹介では、世界食糧事情や当町の酪農情勢を含めながら、なぜ、環境にやさしい本事業が必要なのかなど説明いただきました。

なお、研修会冒頭に「平成二十一年度自治功労者表彰」が行われ、当議会からは、池田・佐藤・中村の各議員が十年以上議会議員を務めたとして表彰されました。

来年度は羅臼町で開催される予定です。
(松原委員)

講演では、今後の基礎的自治体のあり方を、栗山町議会などの実践事例を紹介しながら、監査機能の充実や議会制度のあり方、議会人として地域住民とどの



みのりの集会で作ったカレーを盛りつける子どもたち

中春別小学校

本校は、今年度四月より三校統合で、美原小・豊原小の仲間を迎え、現在全校児童百十五名と昨年度の二倍以上の子どもたちが元氣よく学習に運動に励んでいます。

四月十四日には、「中春っ子百人集会」を児童会が企画し、全校児童で、仲良くなるための楽しいゲームをしたり、一年生と美原・豊原のお友達を歓迎する気持ちを込めて、全

校合唱「明日は晴れる」を元氣よく歌いスタートしました。

その後、一学期には、統合後初の「大運動会」が催されました。児童数が倍増したこともあり、綱引きなどの団体競技、また、中春小の伝統である「全校鼓笛」の演奏も一段と

迫力あるものになりました。また、二学期に入ってから、地区プールでの「水泳記録会」、さらには学校園でできた芋などを使って調理し全校でいただく「みのりの集会（写真）」が行われました。

さらに、十月一日に「校内マラソン大会」、十月十八日には、二学期最大の行事「学芸会」があり、各学年は現在、それぞれ練習に取り組みました。

このように、新星・中春小では普段の学習・生活を通して紹介しました学校行事などを通して、「豊かな心・確かな学力・たくましい体力」を身につけることを目指して、頑張っているところです。

編集後記



五年は豊作になるといわれてきたらしい。しかし今年は低温多雨により収穫作業も遅れ、牧草収穫量も減少しています。根室地区でのデントコーンの作付けは五年に一回の冷害、十年に一回の大冷害を覚悟しなければといわれています。改めて自然条件の厳しさと良質粗飼料収穫の難しさを感じた年でした。

中小企業家同友会主催の「酪農郷元氣セミナー」が開催されました。講師は別海高校OBで酪農学園大学教授の吉野宣彦氏。「酪農と他産業の関わり」～新たなビジネス創造の課題～飼料産業、加工業、景観観光など、今後の発展のためには住民意識の自立と参加が重要であるという内容でした。

酪農文化の発展に期待し、企画した同友会に感謝する講演会でした。
(西原委員)

東京での議会広報研修会に参加させていただきました。私たちの議会だよりも、全道的には高い水準にあると自負していましたが、「上には上があるものだ」が率直な感想でした。うぬぼれが一番の敵です。心して取り組んでいきたいと思います。さっそく、できるところから改善したいと、今号では次のことに取り組んでみました。①議会広報誌なので議会活動を前面に（今までは町長の行政報告が前面でした）②議会審議のようすを羅列的でなくメリハリの利いた編集に③町民の請願・陳情のようすをわかりやすくお知らせする…などです。「傍聴しているのかのようなりアルな広報誌を」「町民の声を載せるように」とも言われました。課題はたくさんあります。がんばります。

(中村委員)

うがい・手洗い・マスクつけ、みんなでストップ インフルエンザ！